

5-1 説明

対策しないと、全部壊してやるぞー！
どーん！！



じしんまん
©やなせたかし

0		[震度0] 人は揺れを感じない。
1		[震度1] 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。
2		[震度2] 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。
3		[震度3] 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。

震度と揺れ等の状況		
4	<p>震度4</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ ほとんどの人が驚く。 ◎ 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ◎ 座りの悪い置物が倒れることがある。 	<p>震度5弱</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 大半の人が、恐怖を覚え、物につかりたいと感じる。 ◎ 棚にある食器類や本が落ちることがある。 ◎ 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
5強	<p>震度5強</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 物につかまらないと歩くことが難しい。 ◎ 棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。 ◎ 固定していない家具が倒れることがある。 ◎ 補強されていないブロック塀が崩れることがある。 	
6弱	<p>震度6弱</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 立っていることが困難になる。 ◎ 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ◎ ドアが開かなくなることがある。 ◎ 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ◎ 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 	
6強	<p>震度6強</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ◎ 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 ◎ 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。 ◎ 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。 	
7	<p>震度7</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 耐震性の低い木造建物は、傾くもの、倒れるものがさらに多くなる。 ◎ 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ◎ 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。 	

- 地震の震度と揺れ等の状況（概要） -
(出典：気象庁)

自分の地域の震度と揺れの状況を見て、家やブロック塀の耐震化、家具の固定に取組みましょう。